



# 「海の京都」を中心とする観光まちづくり



海の京都

京都府 交通基盤整備推進監  
村尾俊道

平成28年12月19日 EST創発セミナー(北海道)資料



# ◇ 海の京都エリア & 北近畿タンゴ鉄道 (KTR) の位置



- 京都方面とは上下10本の特急が直通運転(京都～天橋立間 約2時間)
- 大阪方面とは、福知山駅で同一ホームで乗換(大阪～天橋立間 約2時間20分)

## ◇ 交通まちづくりを進める上で .. お伝えしたいこと

- 地方部で鉄道に乗ること = 市民にとっては非日常
- 持続可能な交通 = 需要を創造 = 交通だけでは無理  
交通のマネジメント = 地域のマネジメント
- まちづくり = チームプレー = プロサッカーチーム
- 通信vs交通、公共交通vsクルマ
- 時代にふさわしい・地域の誇りとなる乗り物・物語
- 投資が必要 = ひと・知恵・設備 = 変化し続ける

# 観光まちづくり 「海の京都」

## ◇京都府北部地域のストーリー

日本海に面する府北部地域は、古代より、大陸文化・技術の交流の窓口として栄え、多くの神話の舞台となった、いわば「京都(みやこ)のふるさと」

江戸時代には米や海産物などの重要な輸送手段である北前船の寄港地として、明治時代以降には日本海防衛の要として、また引揚げ港として、わが国と大陸との玄関であり続けてきた。



私市門山古墳公園



元伊勢籠神社



与謝野町立古墳公園



天橋立



山陰海岸ジオパーク

歴史

海の  
京都

自然  
景観

暮らし・  
文化



北前船

丸木舟



福知山城



舞鶴旧鎮守府倉庫施設



伊根の舟屋(漁村集落)



ちりめん街道

# ◇「海の京都」事業



海の京都



「海の京都」シンボルマーク



海の京都

## 歴史的・地理的背景

古代より、大陸との交流の窓口として栄え、日本の国生み神話の重要な舞台いわば

「もうひとつの京都」

## 「海の京都」

歴史的・地理的背景や交通基盤整備を活かし、京都府北部地域を全国有数の競争力のある観光圏に。魅力ある観光まちづくりを総合的かつ計画的に実施。

## 交通基盤整備の進捗

京都縦貫自動車道、舞鶴若狭自動車道の開通、北近畿タンゴ鉄道の再生など陸の交通基盤整備、大型クルーズ船などに対応した埠頭整備など海の交通基盤整備

「陸路・海路双方からの人・ものの流れの増大」



## 京都府の北部は日本海に面しています。

古代、海から大陸文化が伝わり、京都府北部は、大陸との交流の窓口として栄えました。

北部で発展した技術や文化は、やがて南に広まり、平安の都に王朝文化が華開くことになり現在の姿へと繋がります。

メジャーな観光地である京都市エリアを「陸の京都」と呼ぶならば、京都府北部の「海の京都」もまた、歴史文化や自然にあふれた、魅力的なエリアです。

## ◇「海の京都」事業

# 「海の京都」観光圏の認定

- ◆平成26年7月、**近畿圏では初めて、「海の京都観光圏」が国の認定**を受けた。
- ◆国からの旅行業法等の特例措置やブランド確立事業への補助等の支援を活用しながら、滞在プログラム造成や観光情報提供、人材育成、アクセス向上等に地域が一体となって取り組むことにより、さらに「海の京都」の取組を加速

### ○観光圏とは

自然、歴史、文化等において密接な関係のある観光地を一体とした区域であり、その観光地同士が連携して2泊3日以上の滞在交流型観光に対応出来るよう、観光地の魅力を高めようとする区域



天橋立、伊根(舟屋)はミシュラン・グリーンガイド・ジャポンの2つ星

# ◇ 沿線自治体の取組 『海の京都』による戦略拠点の整備



海の京都

➤ 『海の京都』事業による発信力・集客力のある「戦略拠点」の形成を推進



【戦略拠点】

浜詰(夕日ヶ浦温泉)・久美浜



【戦略拠点】

伊根浦地域内  
(伊根浦舟屋群)

【戦略拠点】

天橋立



海路  
天橋立～宮津～伊根周遊ルート

【戦略拠点】

昭和モダン・シルクの里  
もてなしゾーン  
(ちりめん街道)



鉄道とバスの連携  
による周遊ルート



【戦略拠点】

舞鶴赤れんがパーク周辺一帯

【戦略拠点】

お城とスイーツを  
巡るまちなか観光  
エリア



【戦略拠点】

ゲンゼから大本に  
至るまち並み



# 北近畿タンゴ鉄道の再生

## ◇ 北近畿タンゴ鉄道(KTR)の概要

### ■ 営業路線

営業キロ 114.0km

<宮福線> 30.4km

福知山～宮津

<宮津線> 83.6km

西舞鶴～豊岡

駅数 32駅

<宮福線> 14駅

<宮津線> 19駅

\* 宮津駅は重複

有人駅は15駅

(うち直営5駅)



### ■ 沿革

大正13年 旧国鉄峰山線(当時:西舞鶴・宮津間)営業開始

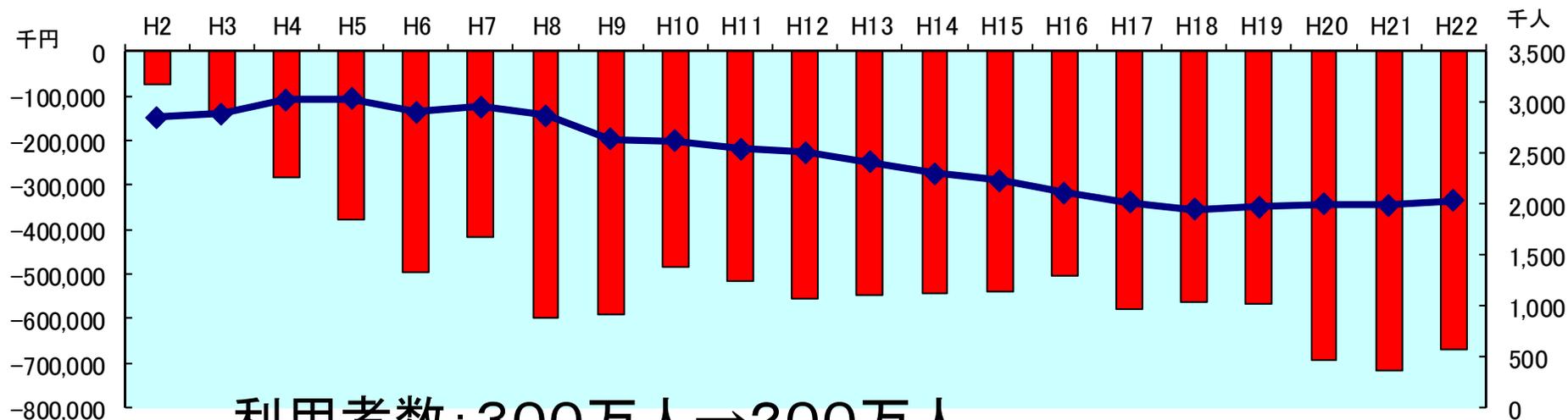
昭和57年 宮福鉄道(株)会社設立 (三セク)

昭和63年 宮福線(宮津・福知山間30.4km)開業

平成元年 北近畿タンゴ鉄道に商号変更 (三セク)

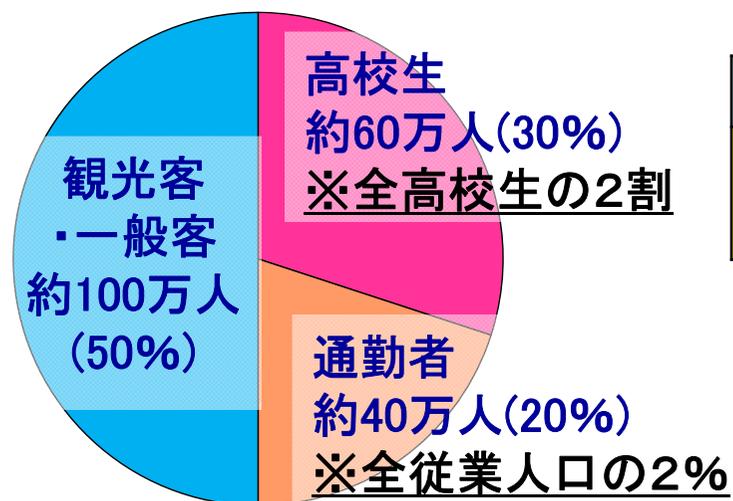
平成2年 旧国鉄宮津線(西舞鶴・豊岡間83.6km)を譲り受け開業

# ◇ KTR利用者数と経常損失の推移



利用者数: 300万人→200万人  
 経常損失: 年々増加。年間約7億円超

## ■ 利用者の内訳



## ■ 沿線従業員人口の推移 (KTRの駅から600m圏)

	H13	H18	減少率
従業員人口	54,099人	49,332人	91%

資料: 国勢調査、事業所・企業統計調査

駅周辺から減る従業員人口

## ◇ 北近畿タンゴ鉄道(KTR)の抱えていた課題

- ・ 利用者の減少傾向に歯止めがかからず、運行本数(特急)を減便する負のスパイラル状態
- ・ 設備が老朽化し大規模な修繕が必要(冷房の不具合、車両の傷み)
- ・ 組織と財務の硬直化
- ・ 観光地の魅力の相対的な低下(海水浴客の減少)
- ・ 今後、高速道路の延伸により自動車利用の利便性が高まり、高速バスが脅威(競争条件の変化)



「乗って守ろう」の限界

このままでは地域から見放されつつある



北部地域総合公共交通検討会「中間とりまとめ」(H24.9)

「愛されるKTRへ」～乗って守る・来てもらって守る～  
〈めざすべき将来像〉

沿線の人々が誇りを持って生き生きと暮らし続け、域外の人達に自慢できる地域に愛される鉄道としてその価値を発揮できるように、安全を確保し、安心して使える設備水準で、しっかりと後世につないでいく。

## ◇ 概 要

少子高齢化が加速する2府県5市2町に跨る地方鉄道沿線において、観光圏・連携都市圏づくり等により新たな需要創造を行いつつ、民間企業の智恵を取り入れた経営体制への刷新をはかる鉄道事業の上下分離を実現。鉄道再生をきっかけに沿線のまちづくりが進展し、地域に活力と希望をもたらしている。

## ◇ 実現したこと

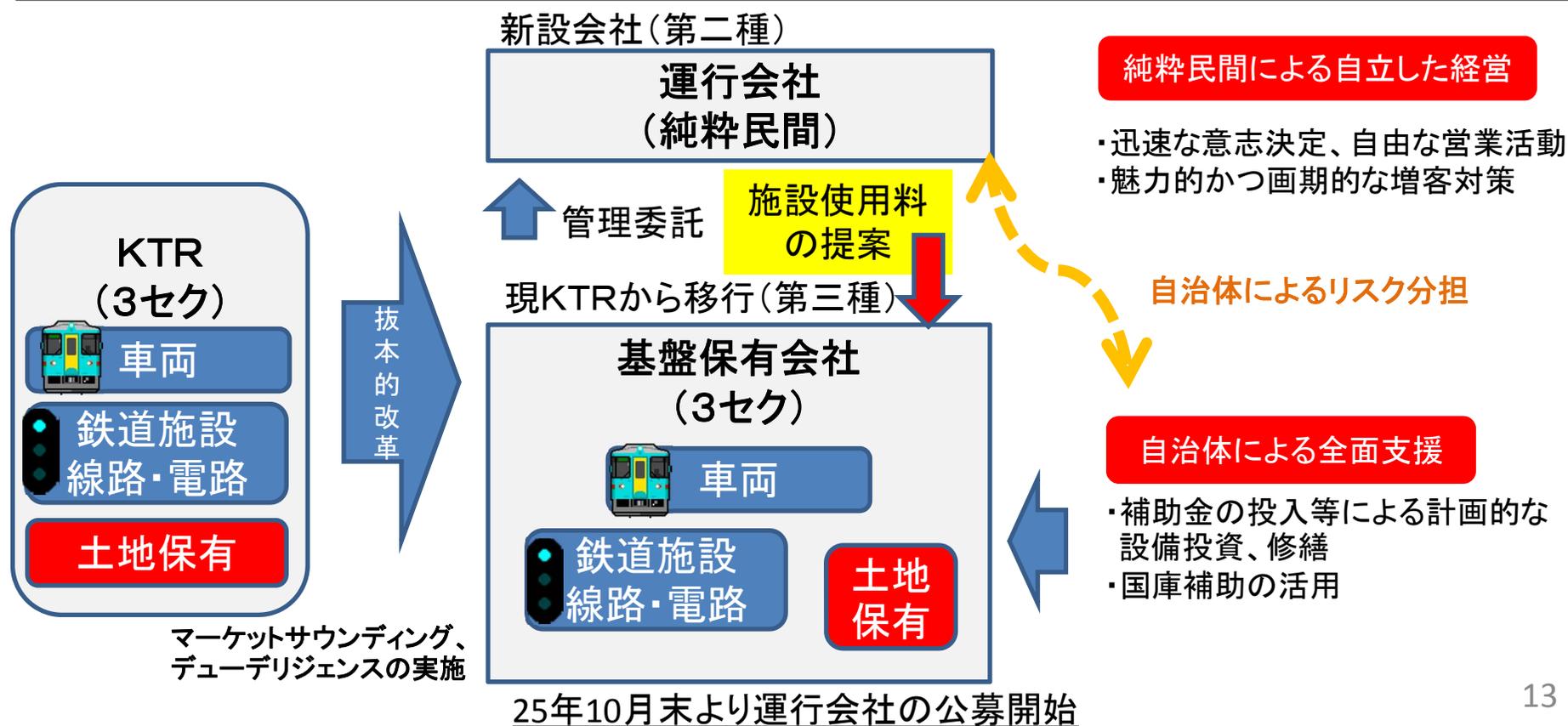
- ①平成25年4月 デザイン車両「丹後あかまつ号」「丹後あおまつ号」運行開始
- ②平成26年5月 食堂車「丹後くろまつ号」運行開始
- ③平成26年7月 **海の京都観光圏認定**、丹後半島周遊BUS・伊根航路開始
- ④平成27年3月 JR山陰本線特急増発
- ⑤平成27年4月 **京都丹後鉄道スタート** **府北部地域連携都市圏形成推進宣言**
- ⑥平成27年5月 天橋立ターミナルセンターリニューアル、大丹鉄まつり開催
- ⑦平成27年7月 **海の京都博スタート**
- ⑧平成27年11月 特急「丹後の海」運行開始(京都直通)
- ⑨平成28年7月 くみはまライナー運行開始(城崎温泉直通)

# ◇民間事業者が参入しやすいスキームの提示

(上下分離による鉄道事業再構築)

～純粹民間事業者による自由な経営ができる環境整備～

- 車両・鉄道施設・土地等の資産を基盤保有会社が保有し、運行会社は運行業務のみを実施
- 柔軟な施設使用料の提案(基盤保有会社に対しては自治体が全面支援)
  - 純粹民間会社による参入を可能に
  - 自由な経営による新たな需要を生み出す智恵、利用者視点に立ったサービス改善を期待





丹後あおまつ号

「田舎の列車の方がカッコいい」と思  
わせなければ若者は戻ってこない。地  
元の人を楽しんでいないと観光客は  
来ない。



丹後あかまつ号の車内



丹後あかまつ号



由良川橋梁を渡る丹後あかまつ号



丹後あかまつ号の車内



# ◇ 丹後くろまつ号





# ◇ 具体的な取り組み例 デザイン改修

## ➤ 地域全体のデザインをトータルにマネジメント

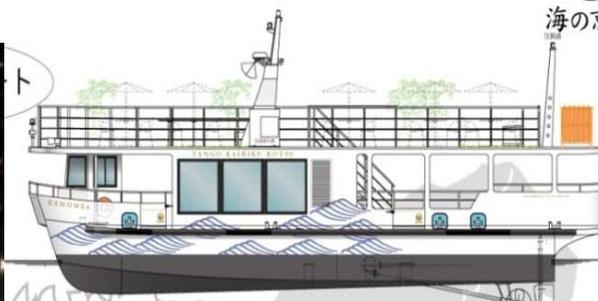
・観光地の修景整備 ・駅舎のリニューアル ・鉄道・バス・船舶・ケーブル・リフトのリニューアル

観光  
訪れてよし



海の京都

交通  
住んでよし



バスと連動したデザインで統一。バスのブラックカラーに対して白基調の中にバスと同じモチーフ（波）をあしらっている。



夏祭り等、なるべく簡易に統一感を表現し、祭り時の高揚をはかる



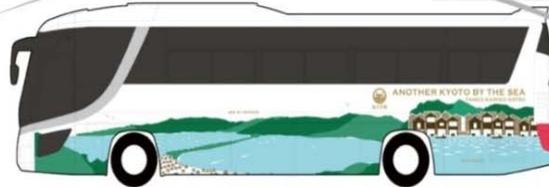
カー



土日は周遊バスとして運行されるが、平日は路線バスとしても使用される。身近に走るバスとして、地元の方にもクリーンで楽しい雰囲気を感じてもらう。また観光船との連携も考慮し、全体の統一をはかる。



域外広報



天橋立、伊根の舟屋など、「海の京都」エリアの魅力的な風景をイラストで表現。域外の方に「海の京都」の楽しさを感じていただく。



# ◇ 公共交通ネットワークの形成(域外からのアクセス)

## ➤ 城崎温泉とのアクセスの強化

- ・城崎温泉から海の京都エリアへのアクセス向上のため、丹後くろまつ号の運行時刻の変更、城崎温泉駅と久美浜駅を結ぶくみはまライナーの運行を開始



### 舞鶴赤レンガパーク 伊根遊覧船

海軍ゆかりのまちと舟屋の里を結ぶ

2016年 7月16日~8月28日の土・日・祝 (8/11,13,14を除く)

◎運航日: 7/16(土)・7/17(日)・7/18(祝月)・7/23(土)・7/24(日)・7/30(土)・7/31(日)  
 8/6(土)・8/7(日)・8/20(土)・8/21(日)・8/27(土)・8/28(日)

※乗船人数: 100名以内 ◎乗船時間: 約75分 ◎乗船料: 大人2,500円(税別) 小児1,250円(税別)

コース	舟屋の里 伊根	舟屋の里 伊根	舞鶴赤レンガパーク
往	→ 11:00	→ 12:00	→ 13:15
帰	→ 14:40	→ 15:00	→ 16:15

乗船料 1,500円 往復 2,500円  
 船賃 700円 往復 1,200円  
 乗込 500円(片道)

※乗船料の約30分前まで受付

海の京都

京都から 東京から

## ➤ 鉄道アクセス強化

- ・京都駅からの早朝到着特急の増発
- ・特急車両の刷新、丹後の海の投入





日本三景 天橋立

海の京都  
Kyoto By the Sea

天橋立松並木  
AMANOHASHIDATE PARK 80m

公衆トイレ  
PUBLIC RESTROOM 100m

↑

天橋立ビューランド  
AMANOHASHIDATE VIEW LAND 270m

智恵の湯  
PUBLIC BATH "CHE NO YU" 290m

天橋立駅  
AMANOHASHIDATE STATION 320m

→

智恵寺  
CHIONJI TEMPLE 30m

観光船のりば  
SIGHTSEING BOAT PIER 100m

←







# ウィラートレインズ(株)による鉄道事業の運営



WILLER **W** GROUP

WILLERグループの構想

“交通革新”と“まちづくり”が連携することで、  
地域の価値を向上する。

経営ビジョン

私たちWILLERグループが目指す地域の価値向上。

それは、利便性の高い高次元交通ネットワークの実現(交通革新)により、ストレスのない便利で自由な移動を沿線地域全体に提供すること。そして、豊かな自然や食・文化など地域の観光資源をはじめ、それぞれの市町の良さを活かした広域的なまちづくりを行うこと。これら自治体をはじめ各種事業者と協力の上、「交通革新」と「まちづくり」の連携によるシナジー(相乗効果)を創造することで、沿線で生活している人が望む都市機能・生活水準の向上を実現することにあります。さらに地域の雇用や教育環境づくりにも力を入れ、都心で生活する若い人が移り住みたくなる魅力ある地域への発展につなげてまいります。

高次元公共交通  
ネットワークの実現

地域を創生する  
若い人の働く場の創造

交通・街づくりを  
目指す学生の  
教育の場を創造


**京都丹後鉄道** 運行開始記念  
 KYOTO TANGO RAILWAY

**大丹鉄まつり**  
**DAI-TANTETSU MATSURI**

**入場無料**

開催日 **2015年 5月31日(日)**  
 開催時間 **9:00~17:00**  
 開催場所 **天橋立(文珠浜公園)**

鉄道・高速バスのりものイベントほか盛りたくさん

屋台、全国グルメ市

凄い景品が当たる? 大抽選会

男の子向け・女の子向けキャラクターショーほかステージイベント

もんじゅはまこうえん

**PINK DRESS**

**丹鉄マルシェ**

**500円**

「丹鉄マルシェ」と「全国ご当地グルメ市」で500円分のクーポンとしてご利用いただけます。

※おつりは現金されません。  
 ※クーポン部分の払い戻しは致しません。  
 ※切り取って、京都駅にお戻し下さい。

**天橋立をピンク色に染めよう!**

ピンクを身に着けて来ると、  
 フードが“ピンクde割引”  
 適用でお得に!

**大丹鉄まつり** きっぷ  
**DAI-TANTETSU MATSURI**

2015年5月31日 日曜日

京都丹後鉄道  
 KYOTO TANGO RAILWAY

No.

ご利用日

大人 **1,000円**  
 (小児 750円)

当日限り有効

詳しくは裏面をご覧ください

# ◇ 京都府北部地域連携都市圏

～京都府北部5市2町の連携による  
魅力的な生活圏の構築～

## 取組の方向性

### 観光

日本三景「天橋立」、伊根の舟屋、夕日ヶ浦等の魅力ある豊富な観光資源を活かし、「海の京都」の統一コンセプトの下、圏域としてブランド力のある着地型観光地として戦略的に整備

平成26年7月に国の「観光圏」に認定(「海の京都」観光圏)



天橋立 伊根の舟屋 夕日ヶ浦

### 医療

心臓血管外科、脳神経外科など高度な医療が提供可能な医療機関群を活かし、それぞれの医療機関の得意分野を伸ばすことで、大都市に行かずとも、この圏域内で必要な医療が受けられる環境を実現



舞鶴市民病院、舞鶴赤十字病院 府立医科大学附属北部医療センター

### 教育

○「知(地)の拠点大学」等と連携し、ものづくりやサービス業など地域産業を牽引する人材育成拠点を形成

○中高一貫教育校、水産高校、工業高校など特色ある多様な高校教育が受けられる教育環境を実現



府立福知山高校 (中高一貫教育)

### 工業集積(雇用)

約8千人の雇用を抱える長田野・綾部・森本工業団地をはじめとした工業集積を活かし、雇用を圏域全体で受け入れ、圏域の雇用を増大



長田野工業団地 綾部工業団地 森本工業団地

### 公共交通

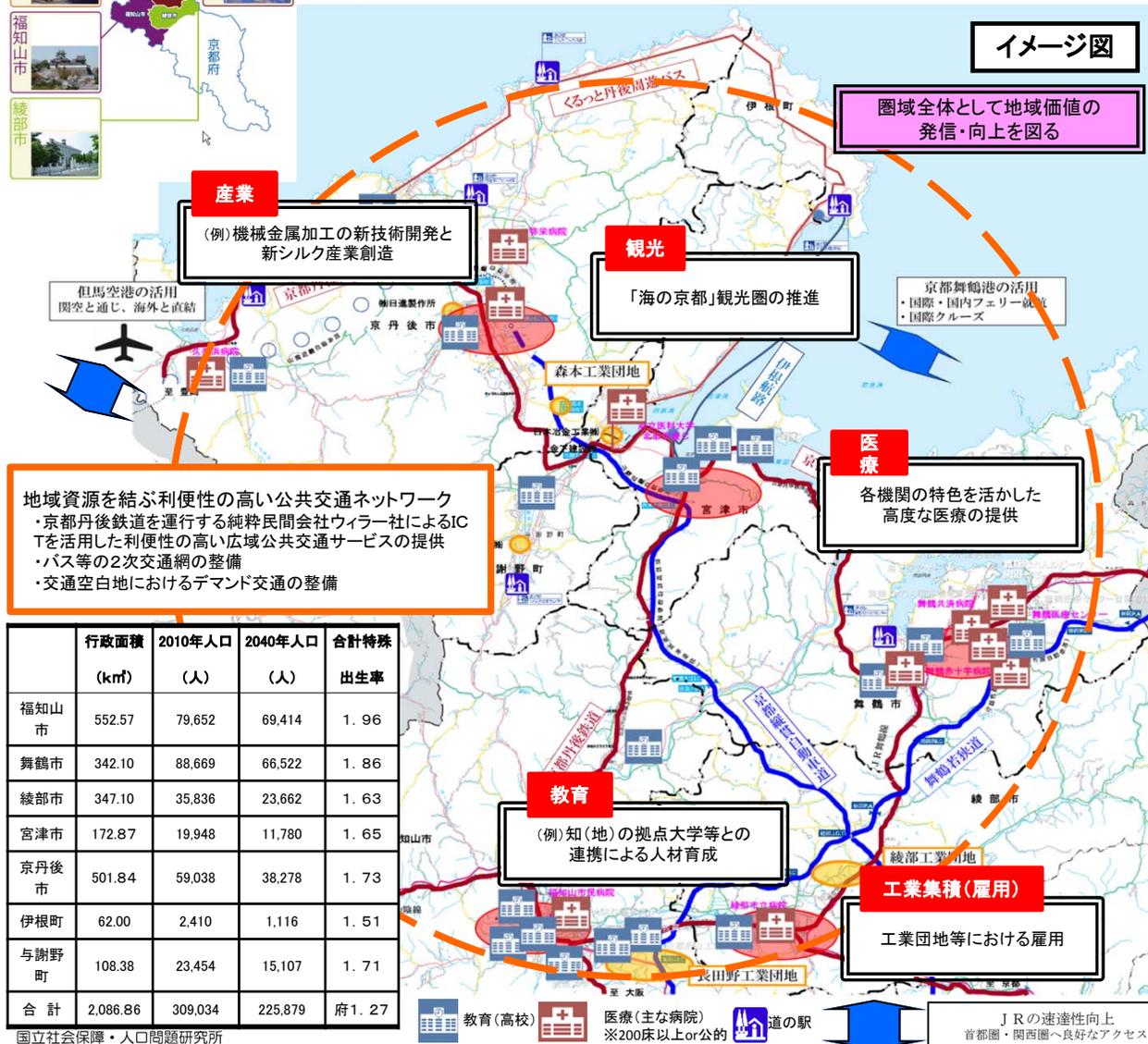
「京都丹後鉄道」等の広域交通、バス等の2次交通、交通空白地のデマンド交通を結びつけ、圏域内を自由に移動・周遊できる公共交通ネットワークを実現



京都丹後鉄道 KYOTO TANGO RAILWAY

- それぞれの市町の個性や得意分野を公共交通ネットワーク等により結びつけ、(一極集中ではなく)相互に役割を担い、圏域として都市機能・生活水準の向上を図る(中核市にも相当する公共サービスや都市機能を圏域で確保)
- 豊かな自然環境の下、医療・福祉、教育、交通等の充実した質の高い居住環境を創出するとともに、密度の高い生活圏の形成による労働生産性向上を通じた所得の向上を図り、大都市ではできない文化的で若者や子育て世代に魅力ある生活圏をつくる。

## イメージ図



地域資源を結ぶ利便性の高い公共交通ネットワーク  
 ・京都丹後鉄道運行する純粋民間会社ウィラー社によるIC Tを活用した利便性の高い広域公共交通サービスの提供  
 ・バス等の2次交通網の整備  
 ・交通空白地におけるデマンド交通の整備

	行政面積 (km <sup>2</sup> )	2010年人口 (人)	2040年人口 (人)	合計特殊出生率
福知山市	552.57	79,652	69,414	1.96
舞鶴市	342.10	88,669	66,522	1.86
綾部市	347.10	35,836	23,662	1.63
宮津市	172.87	19,948	11,780	1.65
京丹後市	501.84	59,038	38,278	1.73
伊根町	62.00	2,410	1,116	1.51
与謝野町	108.38	23,454	15,107	1.71
合計	2,086.86	309,034	225,879	府1.27

国立社会保障・人口問題研究所  
合計特殊出生率(平成22年国勢調査)

## ◇ 京都丹後鉄道(上下分離後)の利用状況

平成27年度の利用(5年ぶりの増)

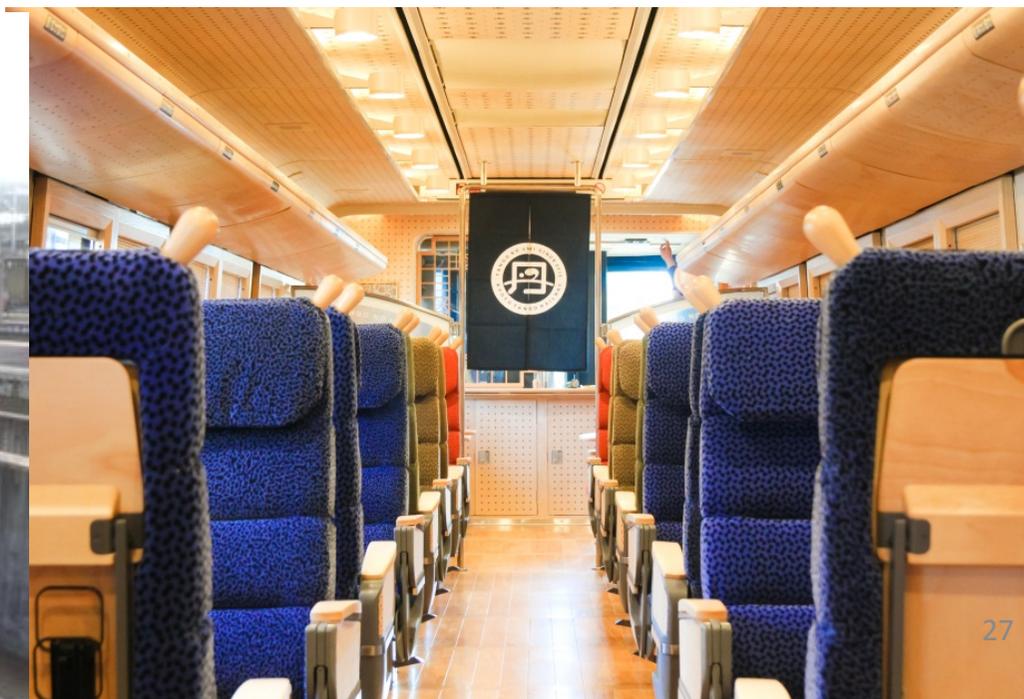
前年度比 **101.3%**

1,866千人  
(<sup>26</sup>:1,843千人)

(要 因)

- ・企画乗車券造成、運行開始記念イベント(大丹鉄まつり)に1万人
- ・3月のダイヤ改正で早朝の京都発の特急との接続が実現
- ・海の京都博開催

新規雇用 平成27年以降 40名超



## ◇ 京都丹後鉄道の2年目の取組

### 1. 28春のダイヤ改正 3月26日(土)から

天橋立と城崎温泉の連携強化、使いやすさの向上など

- ・「丹後あかまつ号」のダイヤを改正し、城崎からの観光客の天橋立での滞在時間を確保
- ・デイトタイムに宮舞線、宮豊線は1時間に1本運行を実現(運行間隔の平準化)
- ・宮福線の一部列車を快速列車にし、運行時間を最大26分短縮

### 2. 丹後くろまつ号の運用を一新 28年4月1日(金)から

#### 「FOOD EXPERIENCE」

丹鉄沿線が一体となり、地域の食・魅力を体験を通じて発信

- ・「車内で楽しむ」から「車外でも楽しむ」をコンセプトに  
駅ホームでの郷土料理体験、  
地元製品の販売、地域住民との交流を体験・体感  
BETSUBARA(べつばら)、  
MANPUKU(まんぷく)、  
YOKUBARI(よくばり)の3コース



## ◇ 京都丹後鉄道の2年目の取組

- 丹鉄ビジネススクール開講と鉄道ファンドの創設  
(沿線地域に起業家を育成。投資を呼び込む。)
- JR城崎温泉駅と丹鉄久美浜駅を乗換なしで結ぶ  
「くみはまライナー」の運行  
(7月～11月の土日祝など臨時運行)
- 丹鉄こども新聞の発行  
(沿線の家族向けへのMM活動)
- 東京ディズニーランドとのコラボグッズ企画・販売
- ラッピング列車・X'masハイボール列車運行  
(アニメ「攻殻機動隊」)



## ◇ 沿線自治体のこれからの取組

### 1. 「海の京都」連携広域DMOの設立

- ・市町が連携し、地域の総力を結集して、観光まちづくりを効果的かつ強力に推進するため、DMOを28年度中に設立
- ・丹後王国「食のみやこ」を観光拠点化
- ・山陰海岸世界ジオパークの整備

### 2. 駅再生アクションプランによる駅のにぎわい創出

- ・駅及び駅周辺に賑わいを取り戻すため、駅を地域の活動拠点、交通結節点として地域と共に再整備
- 久美浜駅(京丹後市)、丹後由良駅(宮津市)で着手

### 3. 特急車両のデザイン化の推進

- ・京都駅と丹後地域を直通する特急車両を「海の京都」のイメージでリニューアル、平成27・28年度で4編成を改修
- ・かえってこいよキャンペーン





